

科目名		建築デザイン実習 I			
担当教員		廣田 邦昭		実務授業の有無	有
対象学科	建築デザイン	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	年々進化を続け、新たな建築業界の主流になる「BIM」というツールを学び、身に付けていく。オートデスク株式会社のBIMソフト「Revit」の基本動作から、自分の表現したいことを適切に表現する方法や、実務で使える豆知識などを学んでいく。				
学習目標 (到達目標)	Revitの基本動作を理解し、定着させる。テキストを見ながらモデリングができる。(木造住宅程度) Revitを用いて適切な図面表現ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	はじめてのRevit & Revit LT				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	課題①テキストChapter 6 (ファミリー作成)		教師がテキストの内容のデモンストレーションを行う。解説を聞きながら学生も同時進行で作業をし、ファミリー作成の流れを確認する。		
2	課題②オリジナル木造住宅 (住宅計画演習課題③)		前期住宅計画演習で取り組んだ課題のモデリング、図面表現、パース表現を行う。ポートフォリオを意識し、エスキスの訂正も行う。		
3	課題③オリジナル木造住宅 (住宅計画演習課題②)		前期住宅計画演習で取り組んだ課題のモデリング、図面表現、パース表現を行う。ポートフォリオを意識し、エスキスの訂正も行う。		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題内容	授業態度	課題提出締切		「BIM」は、建築業界及び自分の可能性を広げるツールです。中でも「Revit」はこれから主流となっていくであろう重要なソフトの一つです。それを学生のうちに使いこなせるようになっておくことと社会に出てからの活躍の幅が大きく違うはず。ぜひいっぱい触って、楽しみながら技術を身に付けましょう。	
80 %	10 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	店舗設計デザイン事務所16年勤務を経て現在個人事務所 実務合計43年				